

# 学術集会プログラム 目次

---

## 学術集会長講演 (1日目 9:30~10:20 第1会場)

「日本の近代化のはじまりと看護の発展」

鈴木 紀子(国際医療福祉大学 小田原保険医療学部 看護学科 准教授)

座長:屋宜 譜美子(天理大学)

## 教育講演 I (1日目 10:30~11:00 第1会場)

「箱根病院の軌跡—医療・看護の発展に繋がる道」

小森 哲夫(国際医療福祉大学小田原保健医療学部 学部長、箱根病院名誉院長)

座長:田中 幸子(東京慈恵会医科大学)

## 教育講演 II (1日目 11:10~12:10 第1会場)

「歴史に向き合う—記憶と記録の意味を問う」

黒沢 文貴(東京女子大学名誉教授)

座長:川原 由佳里(日本赤十字看護大学)

## 教育講演 III (1日目 13:00~14:00 第1会場)

「兵士たちの心の中の戦争」

中村 江里(広島大学大学院 人間社会科学研究科 准教授)

座長:鷹野 朋実(日本赤十字看護大学)

## 教育講演 IV (1日目 14:10~15:10 第1会場)

「看護教育教材・方法の変遷」

岡本 華枝(京都光華女子大学健康科学部 看護学科 准教授)

座長:春日 広美(千葉県立保健医療大学)

## 理事会セッション1:戦争と看護シリーズ(1日目 14:10~15:20 第2会場)

「戦争と看護－戦争は過去のものではない」

テーマ1:“いのちを阻むものは全て悪”

－じょっぱり看護の人花田ミキの映画(予告編)をみながら－

演者:鎌倉 幸子(「じょっぱり－看護の人花田ミキ」プロデューサー)

テーマ2:「戦争と看護」歴史研究にできること

演者:川原 由佳里(日本赤十字看護大学 教授)

司会:佐々木 秀美(広島文化学園大学)

川嶋 みどり(日本赤十字看護大学)

## 理事会セッション2:特別委員会

## 理事会セッション3:研究推進委員会 合同企画

(1日目 15:30~16:50 第1会場)

テーマ:時間泥棒と持続する志、あるいは、タイパとサステナビリティ

－1冊の本『ツベルクリン騒動－明治日本の医と情報－』が誕生するまで

演者:月澤 美代子(元順天堂大学大学院医学研究科 准教授)

企画:鈴木 紀子(国際医療福祉大学 小田原保険医療学部 看護学科 准教授)

丸山 マサ美(九州大学)

城丸 瑞恵(札幌医科大学)

滝内 隆子(金沢医科大学)

## シンポジウム

(2日目 10:00~11:45 第1会場)

「看護の技を未来に繋げる」

－コロナ禍で臨地実習ができない中、看護技術をどのように学ばせるか－

シンポジスト

川嶋 みどり(本学会理事、医療法人財団健和会臨床看護学研究所所長)

中川 真帆(聖路加国際病院看護部)

曾田 陽子(愛知県立大学看護学部・大学院看護学研究科 准教授)

司会:滝内 隆子(金沢医科大学)

樋野 恵子(順天堂大学)

## 一般演題【口演】

### 第1群(1日目 13:00～14:00 第3会場)

座長:刀根 洋子(元和洋女子大学)

口演1 日本における看護職の専門職化—Abbottのプロフェッション論による解釈—

- 江頭 典江 1)
- 1) 京都先端科学大学

口演2 慈恵の看護教育における卒業試験と看護婦規則との関連

- 蝦名 總子1), 芳賀 佐和子 2)
- 1) 元東京慈恵会 , 2) 東京慈恵会医科大学医学部看護学科

口演3 オーラル・ヒストリーパンデミック時代に土岐の地域に尽くした

漢方医平子春載の活躍～春載生碑は弟子亀谷臥石による恩師への報恩～

- ハーディング 優子1), 砂田 普司2), 矢野 正子3)
- 1) 中京学院大学 , 2) 瑞浪市教育委員会 , 3) 聖マリア学院大学

### 第2群(1日目 14:10～15:10 第3会場)

座長:富澤 栄子(国際医療福祉大学)

口演1 ジュリア・スティーブン『病室覚え書き』(1883)にみる経験による看護の内容

- 平尾 真智子1)
- 1) 看護史研究会

口演2 『看護婦』から読み解く保良せきにおける公衆衛生訪問婦事業と実践について

- 徳川 早知子1), 蝦名 總子2), 芳賀 佐和子3)
- 1) 元滋賀医科大学 , 2) 元東京慈恵会 , 3) 元慈恵医科大学

口演3 明治期の避病院と看護

- 村田 奈津江1)
- 1) 園田学園女子大学 人間健康学部 人間看護学科

### 第3群(2日目 9:10～9:50 第1会場)

座長:加治 美幸(杏林大学)

口演1 東濃でパンデミックに挑んだ医師熊谷常次郎の活躍

～土岐熊谷医院の直系親族からのオーラル・ヒストリー～

- ハーディング 優子1), 砂田 普司2), 矢野 正子3)
- 1) 中京学院大学 , 2) 瑞浪市教育委員会 , 3) 聖マリア学院大学

口演2 昭和28年までの母子への配給制度と妊産婦手帳、母子手帳の記載内容

- 箭内 彩也佳1) , 和田 佳子 1) , 日下 修一2)
- 1) 松蔭大学, 2) 聖徳大学

## 一般演題【示説】（1日目 12:30～14:00 第3会場）

座長:黒田 裕子(太成学院大学)

示説1 本統治初期台湾における看護婦養成の特徴—台中医院を事例にして—

○ 小川 景子, 照川 眞木1)

1) 湘南泉病院

示説2 精神医療の歴史における精神障がい者処遇問題と看護

—ビアーズの自伝的小説『わが魂に会うまで』を中心に—

○ 岡田 京子1), 佐々木 秀美1)

1) 広島文化学園大学

示説3 派出婦の歴史 —派出看護婦との比較—

○ 春日 広美1)

1) 千葉県立保健医療大学

示説4 原爆傷害調査委員会の遺伝学調査における ABCC 科学者と助産婦の連携の実際 ～

1952(昭和 27)年の遺伝学調査会議録に焦点を当てて～

○ 船木 沙織1), 城丸 瑞恵2)

1) 天使大学, 2) 札幌医科大学

示説5 1967年のカリキュラム改正後の看護教育実践

—実習指導を行った看護職者の語りから—

○ 菊地 ひとみ, 細野 知子1), 村上 優子2)

1) 日本赤十字看護大学, 2) 東京都立大学

## 一般演題【誌上発表】

誌上1 戦後の新しい看護婦養成教育における教務主任の職務

○ 滝内 隆子1)

1) 金沢医科大学看護学部

誌上2 2009-2013年フランス助産師教育制度改革

—助産師学校(l' école des sages -femmes)からマイユティクス(maïeutiques)へ—

○ 刀根 洋子1), 杉田 理恵子2)

1) (元)和洋女子大学, 2) 東京家政大学

誌上3 『横浜市日報』にみる関東大震災後の病院情報

○ 鈴木 紀子1)

1) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科

誌上4 『横浜市日報』にみる関東大震災被災者支援としてのバラック住宅と病院建設

○ 鈴木 紀子1)

1) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科